

## 教師の資質能力の向上に関する論点（例）

### 1. Society5.0 に向けた教師の資質能力向上

超スマート社会とも言われる Society5.0 においては、スタディ・ログの活用などによる公正に個別最適化された学びの実現など、学びの在り方の変革が期待されている。こうした時代の変化を踏まえ、どのように教師の資質能力の向上を図っていくべきか。

- Society5.0 において教師に求められる役割
- Society5.0 に向けて伸ばさせていくべき教師の資質能力
- Society5.0 に対応するための教員養成に向けた大学の先導的な取り組みを促すための養成、免許制度の在り方
- 全ての教師に情報機器・教材の活用方法を十分に習得させるための教職課程の現状と課題
- 他教科に比して免許外教科担任の多い技術や情報の指導の質を高めるための方策（複数教科の免許状の取得の促進、採用の促進、遠隔教育の活用等）
- 知識が目まぐるしく更新される状況において、教職課程において担保すべき教科に係る専門的内容の履修の在り方（教科教育に関するコアカリキュラム、履修が必要な「一般的包括的な内容」の意義等）
- 先端技術を活用した指導力の分析・共有、研修への活用等の可能性
- 教育委員会と大学・企業等との連携によって、大学教員、大学院生、社会人等の外部専門人材がより柔軟に学校教育を支援できるようにするための方策

### 2. 総合的な教師の資質能力向上方策

教師の資質能力に関しては、養成、採用、研修それぞれの取組のほか、養成・採用・研修を通じた取組や、教師の人事管理など、より広い視点に立って関連する取組を総合的に捉えてその向上を図っていく必要がある。こうした観点を踏まえ、総合的な教師の資質能力向上方策についてどのように考えるか。

- 「教員不足」の中における教職の魅力向上や教員養成の在り方その他の方策（特に小学校教員）

- 免許状を有しているが教職についていない社会人、大学卒業後に学び直して教職を志望する者、教育学部等以外の学生で小学校教員を志望する者など、多様な人材を教職に迎えるための取組
- 教科横断的な学習、小学校における専科指導の充実、学校種間の接続の強化など、現在の免許状の区分等を超えた指導に対応するための免許制度の在り方
- 「指標」の整備の状況を踏まえた教職生涯にわたる職能成長を促進するための更なる取組（免許更新制の効果的な運用、免許法認定講習の開設・受講促進、教職の高度化を含む。）
- 外国語教育や情報教育の充実、日本語指導が必要な児童生徒への教育、特別な支援が必要な児童生徒への教育、貧困等の問題を抱える児童生徒への対応など、喫緊の教育課題に対応するための教師の資質能力向上策や、教員免許以外も含む資格制度の在り方
- 教師の職能開発に重点を置いた形成的な人事評価、戦略的人事配置等
- 優秀な人材を学校管理職に登用するための手立て

### 3. 客観的根拠を重視した教師の資質能力向上のための政策の推進

第3期教育振興基本計画（平成30年6月閣議決定）においては今後の教育政策の遂行に当たって特に留意すべき視点として客観的な根拠を重視した教育政策の推進を挙げ、EBPM(Evidence Based Policy Making)を推進していくこととしている。教師の資質能力向上のための政策においてEBPMを推進していくに当たり、重視すべき取組は何か。

- 教師の資質能力向上のための政策におけるEBPMの可能性
- 以下のような事項に係るエビデンス収集
  - ・ 学生の教職課程における学修と入職後の成果との関係
  - ・ 教員採用試験における結果と入職後の成果との関係
  - ・ 入職後の様々な職能成長のための取組と教師としての成果との関係
- 教師の資質能力向上に資する多様な調査研究がなされるための必要な環境の醸成